

Trimble Business Center

コリドールの操作

www.trimble.com

© 2021, Trimble Inc. は、すべての権利を保有しています。TrimbleおよびGlobe & Triangleのロゴは、米国およびその他の国で登録されているTrimble Inc.の商標です。その他のすべての商標は、それぞれの所有者に帰属します。

TRANSFORMING THE WAY THE WORLD WORKS



このチュートリアルについて

「コリドー」とは、道路や水路などの線状構造物の3Dモデルのことです。コリドーは、水平および(オプションで)垂直方向の線形に基づいており、コリドーの長さ全体の断面を定義するテンプレートが含まれています。

このチュートリアルでは、既存の面と線形に基づいて道路のコリドーを作成します。

Note: ソフトウェアを使用しているときに追加のヘルプが必要な場合は、F1を押してオンラインヘルプを表示します。

Step 0. 必要なデータのダウンロード

まず、このチュートリアルに必要なデータをTrimbleのサイトからダウンロードします。

1. リボンから[サポート] > [チュートリアル]をクリックして、もしくは、下記リンクをクリックしてダウンロードページへアクセスします。

[Trimble Business Center: Tutorials](#)

2. タイトル[*Working with Corridors*]を探し、[Download...]リンクをクリックします。

- **Working with Corridors** — Create a road corridor based on an existing surface and alignment.

[Download...](#)

3. ダウンロードしたZIPファイルを開き、任意の場所に保存します。

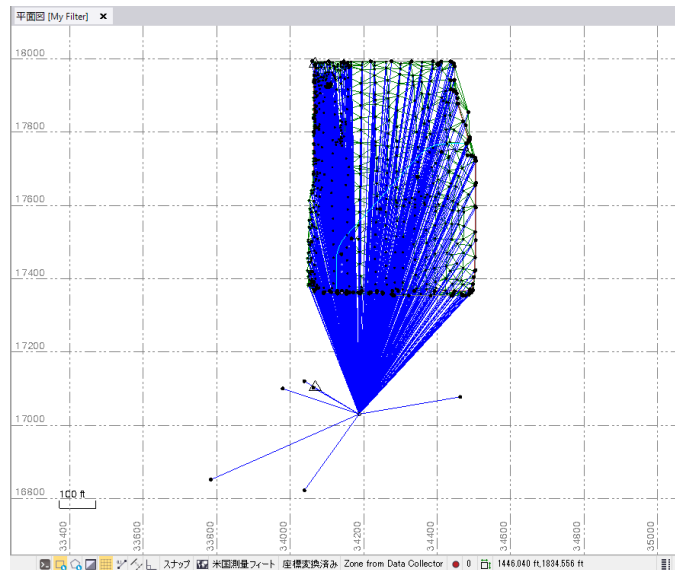
Step 1. プロジェクトを開く

このチュートリアルでは、プロジェクトファイル*Working with Corridors.vce*を使用します。このプロジェクトには、新しい道路コリドーを作成するために使用する面と線形が含まれています。

Note: ダウンロードした*WorkingwithCorridors*フォルダには、このPDFファイルと*Working with Corridors.vce*プロジェクトファイルが含まれています。

1. TBCで[ファイル] > [開く]を選択します。
2. [ファイルを開く]ダイアログで、...*WorkingwithCorridors*¥*Working with Corridors.vce*を参照し、[開く]をクリックします。

Trimble Business Center ウィンドウにプロジェクトが開きます。

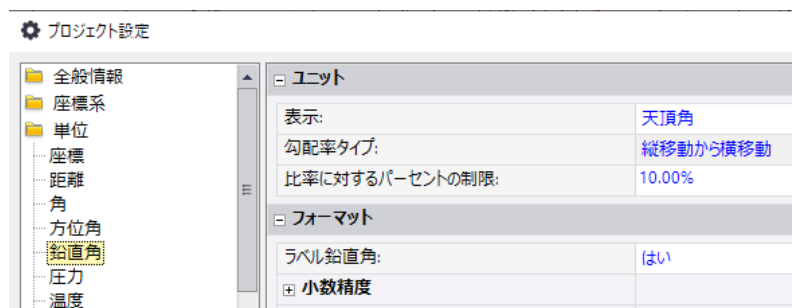


プロジェクトファイルは読み取り専用です。プロジェクトファイルを保存せずに、チュートリアルの手順を実行することができます。しかし、チュートリアルの実行中に中断したい場合は、[ファイル]→[名前を付けて保存]を選択して、プロジェクトを新しい名前で保存することができます。その後、プロジェクトを再び開いて、後からチュートリアルを続けることができます。

Step 2. プロジェクトの勾配比タイプの選択

コリドーには傾斜があるため、プロジェクトの勾配率タイプが正しいかどうかを確認する必要があります。タイプには、[縦移動から横移動]または[踊り場から立ち上がり]があります。

1. [クイックアクセス]ツールバー(Trimble Business Centerウィンドウの上部にある)で、[プロジェクト設定]を選択します。
2. [プロジェクト設定]ダイアログで、左側のナビゲーションペインから[単位] > [鉛直角]を選択します。



[勾配率タイプ]が[縦移動から横移動]になっていることに注意してください。これは、このチュートリアルで使用する設定なので、特に変更する必要はありません。

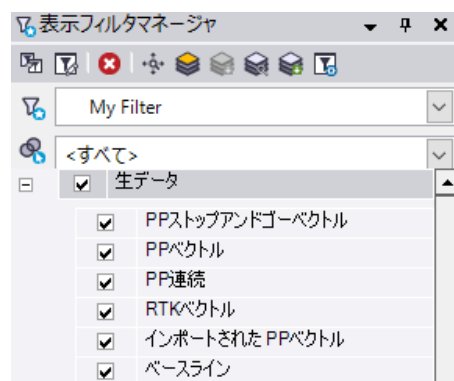
3. [キャンセル]ボタンをクリックします。

Step 3. 表示のフィルタリング

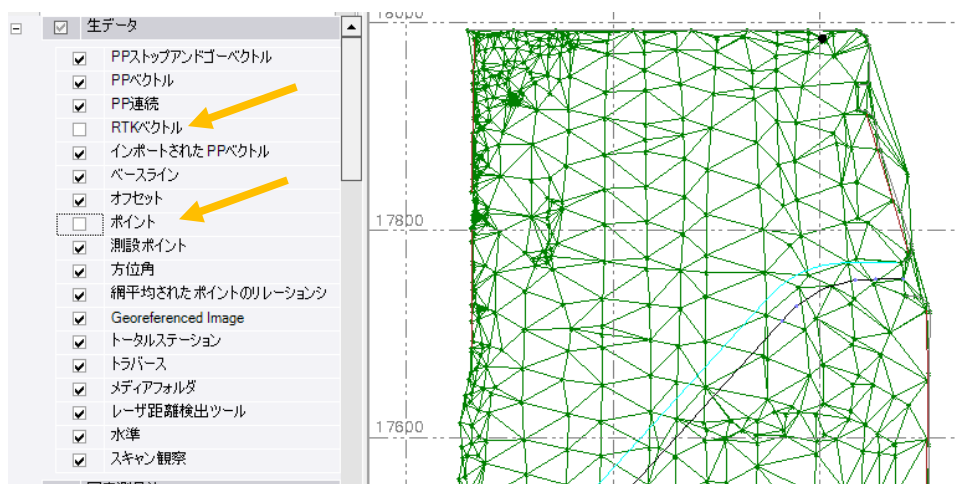
プロジェクトに含まれる線形や面を見やすくするために、ビューをフィルタリングしてRTKベクトルやポイントを非表示にすることができます。

1. TBCリボンで、[ホーム]>[表示]>[表示フィルタマネージャ]を選択します。

[表示フィルタマネージャ] ペインには、すべての[生データ]オブジェクトが表示用に選択されていることが表示されます。



2. [生データ]リストで、[RTKベクトル]と[ポイント]の選択を解除します。平面図で変更を確認することができます。



3. [表示フィルタマネージャ]ペインを閉じます。

Step 4. テンプレートノード名の作成

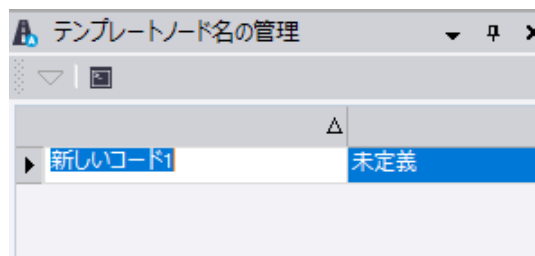
新しいコリドーを作成する前に、コリドーの断面テンプレートのノードを識別するための名前を作成することができます。

テンプレートノード名はコリドーのテンプレート作成時にも作成できますが、事前に作成しておくことで、テンプレート作成のスピードアップにつながります。また、プロジェクトごとに繰り返し使用できるノード名のライブラリを作成することができます。必要に応じて名前を作成し、プロジェクトをテンプレートとして保存するだけです。この名前は、そのテンプレートを使って作成されたすべてのプロジェクトで使用できます。プロジェクトのテンプレートを作成する方法については、チュートリアル「新規プロジェクトの作成」を参照してください。

この手順では、2つの新しいテンプレートノード名を作成します。

1. TBCリボンで、[コリドー]>[コリドー]>[ノードの管理]を選択します。
2. [テンプレートノード名の管理]ペインで、ペインの下部にある[新規作成]ボタンをクリックします(スクロールダウンしないと表示されない場合があります)。

リストに新しい行が表示されます。



3. 新しい行に「走行車線」と入力します。
ドロップダウンリストの「未定義」の選択を変更する必要はありません。
4. 手順2と3を繰り返して、「キャッチポイント」という名前を作ります。
5. [閉じる]ボタンをクリックします。

次に、コリドーのために新しい層を作成します。

Step 5. 層の作成

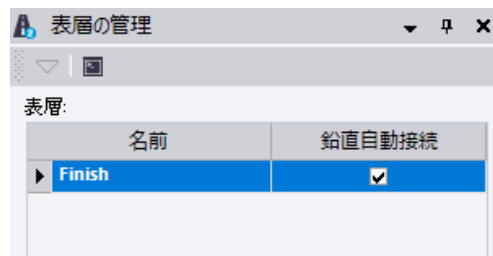
プロジェクトで利用可能な層を指定し、それぞれをコリドー内の異なる面で表すことができます。例えば、デフォルトの「Finish」(または「終了」)レイヤーに加えて、「路盤」、「路床」等の層を指定することができます。

コリドーテンプレートの指示を作成するたびに(このチュートリアルで後述します)、その指示によって作成された線分が表示される1つまたは複数の層を選択することができます。

コリドーを作成または編集する際に、[表層]リストから選択することで「現在の層」を指定することができます。これは、平面図と 3D表示に表示されるレイヤーです。コリドーをエクスポートした場合は、エクスポートしたコリドーの面を作成する際に使用されるレイヤーです。現在の層に表示されるラインは、コリドー面を作成するために使用されます。この手順では、コリドーで使用する新しい層を作成します。

1. TBCリボンで、[コリドー]>[コリドー]>[材料の管理]を選択します。

[表層の管理]ペインが表示されます。デフォルトの[Finish]レイヤーが[表層]リストに表示されます。



2. [新規作成]ボタンをクリックします。

[表層]リストに新しい行が表示されます。

3. [名前]フィールドに「路床」と入力します。



4. [閉じる]ボタンをクリックします。

これで、新しいコリドーを作成する準備が整いました。

Step 6. コリドーを作る

この手順では、プロジェクトに含まれている面と線形に基づいて、建設される道路のコリドーを作成します。

1. TBCリボンで、[コリドー]>[コリドー]>[コリドーの作成]を選択します。



[コリドーの作成] ペインが表示されます。

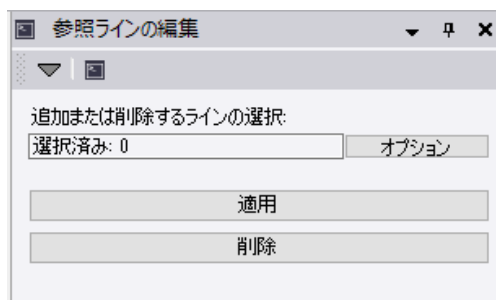
2. [名前]欄に「道路01」と入力します。

「CL」はプロジェクト内で唯一の線形なので、[横断線形]と[縦断線形]のドロップダウンリストではデフォルトで選択されています。

この手順では、地面と材料のフィールドは無視して構いません。

ここで、プロジェクトに含まれるCADポリラインを選択して、新しいコリドーの基準線として使用します。この線に基づいてコリドーにオフセットを作成することができます。

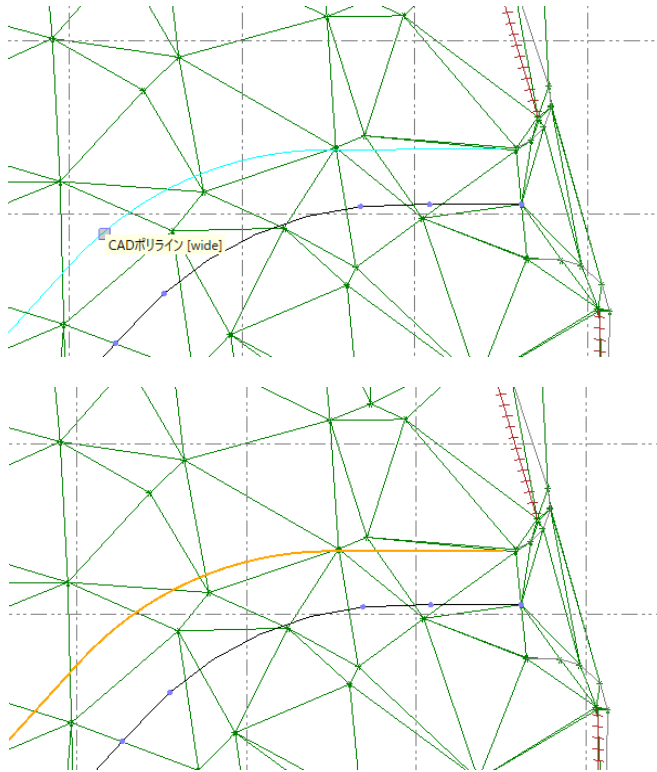
3. [参照ライン]ボックスで[+/-]ボタンをクリックします。



[参照ラインの編集]画面が表示されます。

4. [追加または削除するラインを選択]のフィールドをクリックします。次に、平面図で水色のCADポリラインをクリックします。

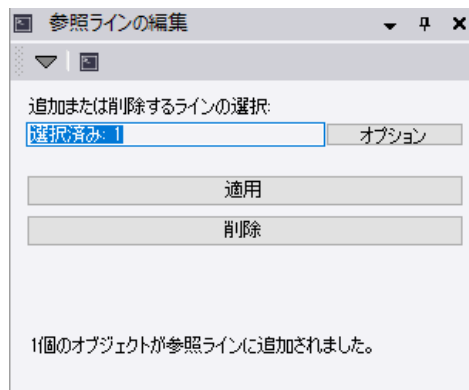
必要に応じて、マウスホイールを使って拡大し、ラインを見やすくします。



フィールドには、1つのアイテムが選択されていることが表示されます。

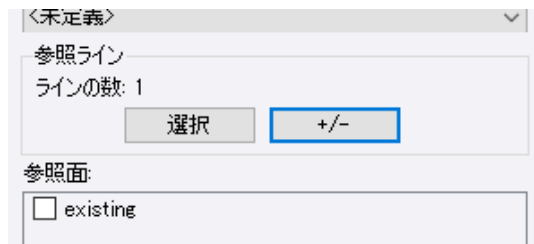
5. [適用]ボタンをクリックします。

選択したアイテムが新しいコリドールの参照ラインとして追加された旨のメッセージが表示されます。



6. [閉じる]ボタンをクリックします。

コリドールに含まれる参照ラインの数が[コリドールの作成]ペインに表示されます。



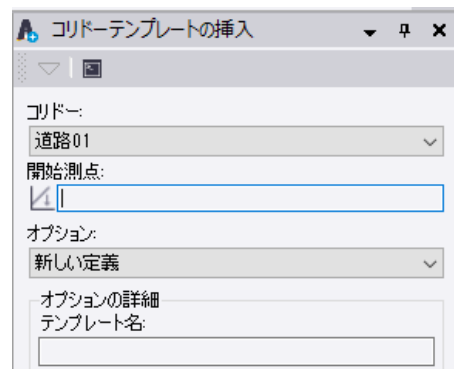
7. [参照面]のリストで、「existing」チェックボックスを選択します。
8. [OK]をクリックします。
[コリドーテンプレートの挿入]ペインが表示されます。

Step 7. コリドーテンプレートの挿入

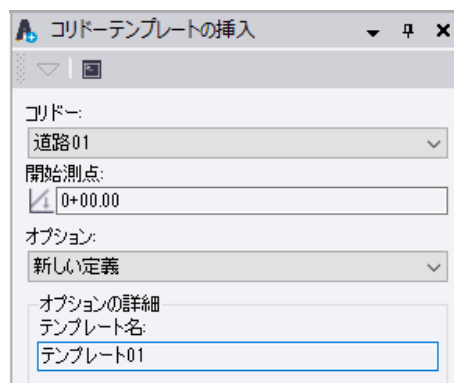
1つまたは複数の断面テンプレートを作成してコリドーに挿入できます(ただし、同じ測点に複数のテンプレートを挿入することはできません。)各テンプレートには、指定した長さのコリドーの断面を定義する指示が含まれています(たとえば、道路のさまざまなオフセットや勾配)。

この手順では、ステーション0 +00以降のコリドーを定義する単一のテンプレートを作成します。

1. [コリドーテンプレートの挿入]パネルの[コリドー]ドロップダウンリストで「道路01」が選択されていることを確認します。
2. [開始測点]フィールドに「0」を入力します。
フィールドからカーソルを移動すると、「0」が標準の測位形式(0 + 00.00)に変わることにご注意ください。これは、新しいテンプレートがコリドーの測点0 + 00.00に挿入され、このステーションから次のテンプレートまで、またはない場合はコリドーの端までのコリドーを定義するために使用されることを示します。
3. [オプション]ドロップダウン・リストで「新しい定義」が選択されていることを確認します。
4. [テンプレート名]フィールドに「テンプレート01」と入力します。

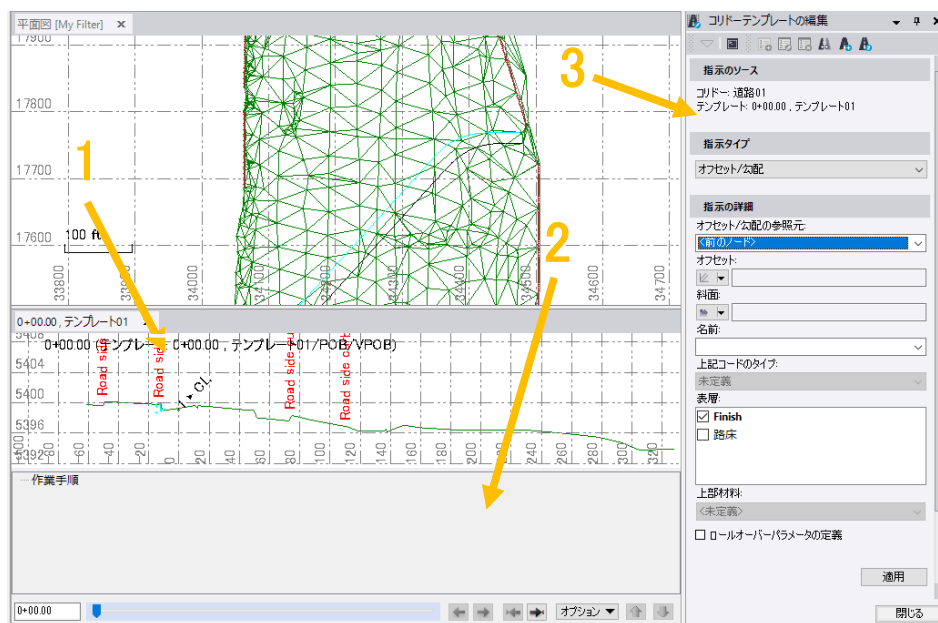


次に、新しいコリドーに断面図のテンプレートを挿入します。



5. [挿入]ボタンをクリックします。

[コリドーテンプレートの編集]ペインが表示されます。ペインには3つのセクションがあります。(1)テンプレートグラフィックビュータブ、(2)作業手順、(3)指示プロパティです。

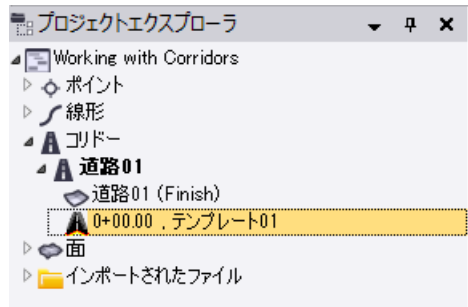


グラフィックビューのタブでは、緑のラインがプロジェクト内の面を表しています。水平方向の線形に基づいたセンターラインノード「1」> CLが自動的に作成され、テンプレートに追加されています。また、先にコリドーに追加した1本のCADポリラインに基づいて、ノード「2」が追加されていることがわかります（「1」> CLの左約15フィート）。



- プロジェクトで[プロジェクトエクスプローラ]を開いていない場合は、[ホーム]>[データ]>[プロジェクトエクスプローラ]を選択します。[プロジェクトエクスプローラ]ペインで「コリドー」ノードと「道路01」ノードを展開して、新しいテンプレートノードを確認します。

新しい「道路01 (Finish)」コリドー面も作成されていますが、コリドーの指示を作成するまでグラフィックビューには表示されませんのでご注意ください。



Step 8. コリドーテンプレートの指示を作成

断面テンプレートを作成して新しいコリドーに挿入したら、テンプレートが定義されているコリドーの長さに沿って、断面がどのように見えるかを指定する指示を定義することができます。

コリドーのテンプレートは、ノードと指示で構成されています。ノードは、テンプレート内のさまざまなオフセットや勾配を定義するために使用されます。例えば、単純な道路のコリドーには、次の3つのノードが含まれています。線形に基づく(1)センターライン、(2)舗装の右端、(3)舗装の左端です。



ソフトウェアは、コリドーの線形と基準線に基づいて、いくつかのノードを自動的に作成します。例えば、上の図のノード1は、コリドーの線形に基づいてコリドーの中心線として自動的に作成されています。

必要に応じて追加のノードを作成し、他のコリドーフィーチャのオフセットや勾配を定義することができます。例えば、上の図のノード2は、舗装の右端を表すために手動で作成されたもので、センターラインに対して10フィートのオフセットと-2%の勾配が設定されています。ノードを手動で作成するには、テンプレート内の他のノードに対するノードのオフセットと勾配を指定する指示を定義します。

この手順では、まずコリドーの右側のFinish層、路床層の両方の層にノードとラインを定義してコリドーのテンプレートを定義します。次に、[指示のミラー化]コマンドを使用して、同じノードとラインのレイアウトを中心線の左側にコピーします。


8a. 右走行車線の定義 – Finish層

1. [コリドーテンプレートの編集]ペインで、[指示タイプ]ドロップダウンリストの「オフセット/勾配」を選択します。



この指示タイプでは、別のノードに対するオフセットと勾配を指定するノードをテンプレート内に作成することができます。この場合、新しいノードは、選択した線形に対して自動的に作成されたCLノードをベースにします。

2. [オフセット/勾配の参照元]ドロップダウンリストで、〈前のノード〉が選択されていることを確認します。

〈前のノード〉を選択すると、[作業手順]上で前の指示で作成されたノードが参照されます。今回のように、[作業手順]に先行する指示がない場合は、自動的に作成された1 > CLのノードが参照されます。

3. [オフセット]ボタンで、オフセットアイコン  が表示されていることを確認します。そして、フィールドに「12」を入力します。

これは、新しいノードが「1 > CL」ノード(センターライン)の右12フィートに作成されることを指定します。仮に-12と入力した場合、新しいノードは「1 > CL」ノードの左12フィートに作成されます。

4. [斜面]ボタンでドロップダウンアイコンをクリックし、[テーブル]  を選択します。次に、[テーブル]ボタン  をクリックします。

[測点/斜面テーブル]ペインが表示されます。このペインでは、現在のテンプレートから次のテンプレート(またはコリドーの端)まで、コリドーに沿って指定された位置にある「1 > CL」ノードと新しいノードの間の勾配を指定できます。



測点	勾配	VCの長さ
▶		?
*		

5. [測点/斜面テーブル]ペインで、以下の値を入力します。

Note: ここに示されている形式で数値を入力する必要はありません。0+00.00の場合、単に0と入力できます。4+33.00の場合、433と入力できます。カーソルが表のセルから離れると、正しいフォーマットが適用されます。

測点	勾配
0+00.00	-2.00%
0+50.00	-2.00%
0+75.00	-4.00%
1+32.00	-4.00%
1+50.00	-2.00%
4+33.00	-2.00%
4+53.00	-4.00%
5+17.00	-4.00%
5+36.00	-2.00%

勾配における「-」(マイナス)は、「1 > CL」の下にノードを作成することを示します。

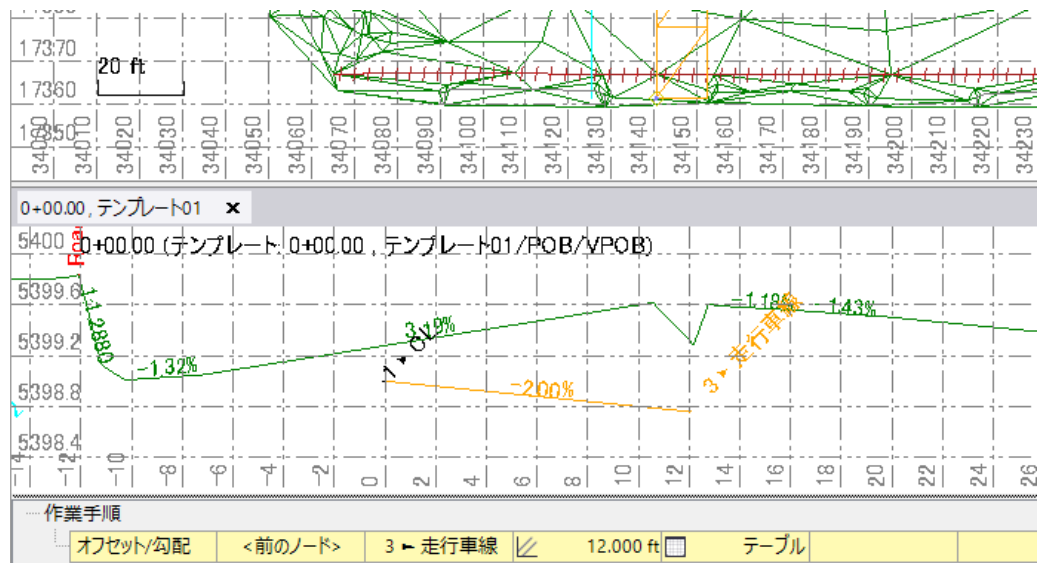
測点	Δ	勾配	VCの長さ
0+00.00		-2.00%	?
0+50.00		-2.00%	?
0+75.00		-4.00%	?
1+32.00		-4.00%	?
1+50.00		-2.00%	?
4+33.00		-2.00%	?
4+53.00		-4.00%	?
5+17.00		-4.00%	?
5+36.00		-2.00%	?
*			

6. 完了したら、[OK]をクリックします。
7. [名前]ドロップダウンリストで、「走行車線」を選択します。
このノードは、右走行車線の右端を表します。
8. [表層]リストで、「Finish」 を選択します。

斜面:	テーブル	...
名前:	走行車線	
上記コードのタイプ:	未定義	
表層:	<input checked="" type="checkbox"/> Finish <input type="checkbox"/> 路床	

9. [適用]ボタンをクリックします。

新しく作成された「3 > 走行車線」ノードがテンプレートグラフィックビューに表示されます。ノードの作成に使用された指示が[作業手順]に表示されます。グラフィックエリアをクリックし、マウス・ホイールを使って新しいノードにズームインします。また、平面図にコリドー面道路01 (Finish)が表示されていることに注意してください。



[コリドーテンプレート編集]ペインのプロパティセクションのフィールドがクリアされ、別の指示を作成できるようになりました。

8b. 路肩の定義- Finish層

1. [指示タイプ]ドロップダウンリストで「オフセット/勾配」を選択します。
2. [指示の詳細]フィールドで以下を入力します。
 - オフセット/勾配の参照元: <前のノード>
この例では、<前のノード>は新しく作成された「3 > 走行車線」ノードです。
 - オフセット > オフセット : 6
 - 斜面 > 勾配率 : -4
[斜面]ボタンのドロップダウンで[勾配率]オプションを選択します。数字の前のマイナス記号は、勾配が「3 > 走行車線」ノードから下向きであることを示しています。
 - 名前: 路肩
[テンプレートノード名の作成]ペインでテンプレートノード名として「路肩」を入力しなかったため、ここで[名前]フィールドに入力できます。
 - 表層: Finish

指示の詳細

オフセット/勾配の参照元:

オフセット:

斜面:

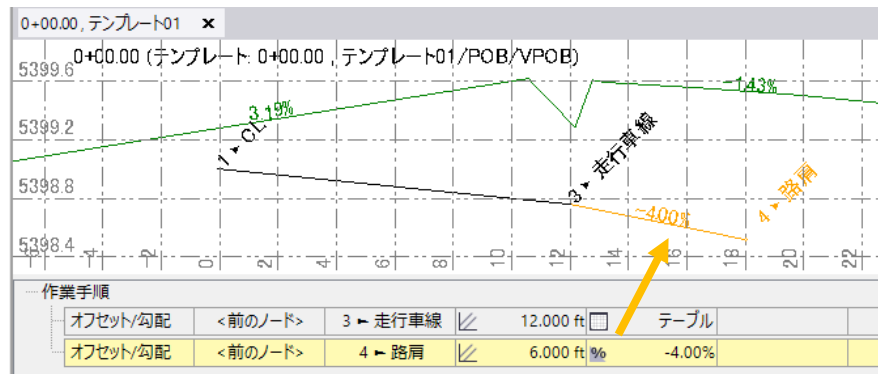
名前:

上記コードのタイプ:

表層:
 Finish
 路床

3. [適用]ボタンをクリックします。

新しく作成された「4 > 路肩」ノードは、走行車線の右端を基準にした、路肩の右端を表します。

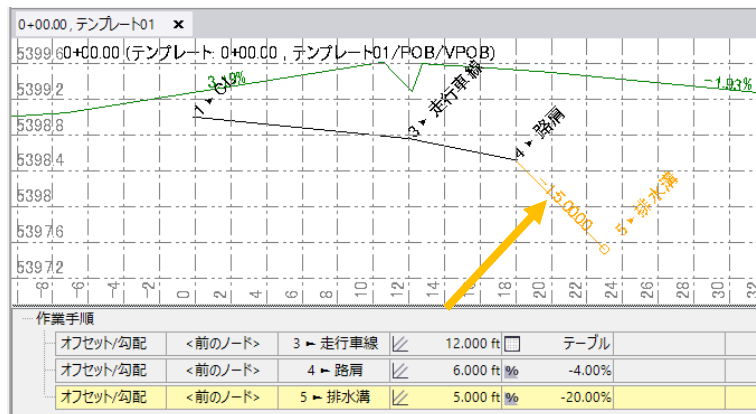


8c. 適切な排水スロープの定義 - Finish層

1. [指示タイプ]ドロップダウンリストで、[オフセット/勾配]を選択します。
2. [指示の詳細]フィールドで以下を入力します。
 - **オフセット/勾配の参照元:** <前のノード>
この例では、<前のノード>は新しく作成された「4 > 路肩」ノードです。
 - **オフセット > オフセット** : 5
 - **斜面 > 勾配率** : -20
[斜面]ボタンのドロップダウンで[勾配率]オプションを選択します。数字の前のマイナス記号は、「4 > 路肩」ノードから下方向への傾斜を示しています。
 - **名前:** 排水溝
この新しいノード名をフィールドに入力します。
 - **表層:** Finish

3. [適用]ボタンをクリックします。

新しく作成された「5」排水溝ノードは、路肩の右端を基準にした排水スロープの右端を表しています。



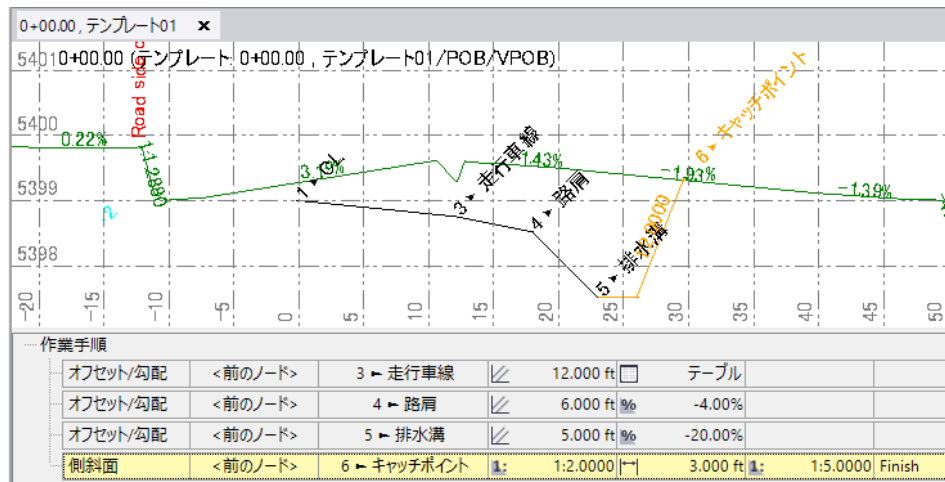
これで、コリドーテンプレートの右側に側斜面を定義する準備が整いました。側斜面の指示タイプは、以下のいずれかまたは両方に基づいて側斜面ノードを定義します。

- 斜面切土、オプションで切り溝の幅
- 斜面盛土

側斜面ノードは、ターゲットテンプレートでの斜面切土または斜面盛土を指定します。

8d. 右側のスロープの定義 - Finish層

1. [指示タイプ]ドロップダウンリストで[側斜面]を選択します。
2. 指示の詳細フィールドで以下を入力します。
 - **側斜面の参照元** : <前のノード>
この例では、<前のノード>は新しく作成された「5」排水溝ノードです。
 - **ターゲットテンプレート**: *existing*
これにより、側斜面が既存の面に接続されるようになります。
 - **斜面切土 > 勾配割合** : 1:2
プロジェクトの設定に基づいて、これは斜面のタイプが縦移動から横移動であることを表しています。
 - **切り溝の幅**: 3
これは、カットが必要な場合、3フィート幅の溝が含まれることを示しています。
 - **斜面盛土 > 勾配割合** : 1:5
 - **名前**: キャッチポイント
 - **表層**: *Finish*
3. [適用]ボタンをクリックします。



ご覧のとおり、側斜面は、コリドーに沿った各場所の表面まで伸びています。コリドーに沿った各場所の表面に応じて、切土または盛土となります。切土の場合は、指示に従って幅3フィートの溝を入れます。

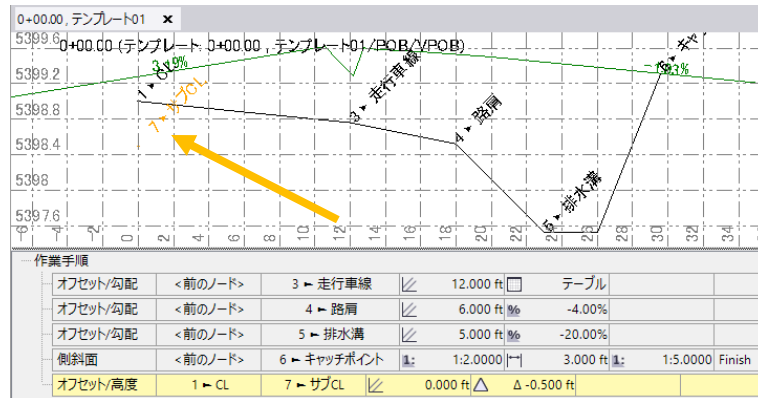
これで、テンプレートの右側のFinish層の定義が終わりました。次に、右側の路床層を定義します。

8e. 中心線-路床層の定義

[コリドーテンプレート編集]ペインで、以下を行います。

- [指示タイプ]ドロップダウンリストで、[オフセット/高度]を選択します。
- [指示の詳細]フィールドで以下を入力します。
 - オフセット/高度の参照元: $1 > CL$
 - オフセット > オフセット : 0
「0」のオフセットにより、新しい路床ノードが高度の値に応じて「 $1 > CL$ 」ノードの真上または真下に配置されます。
 - 高度 > デルタ高度 : -0.5
[高度]ボタンのドロップダウンで[デルタ高度]オプションを選択します。数値の前のマイナス記号は、新しいノードが「 $1 > CL$ 」ノードの 0.5 フィート下になることを示しています。
 - 名前: サブ CL
フィールドにこの新しいノード名を入力します。
 - 表層: 何も選ばないでください
表層を選択しないことで、「 $1 > CL$ 」ノードと新しいノードを結ぶ線が自動的に作成されないようにすることができます。
- [適用]ボタンをクリックします。

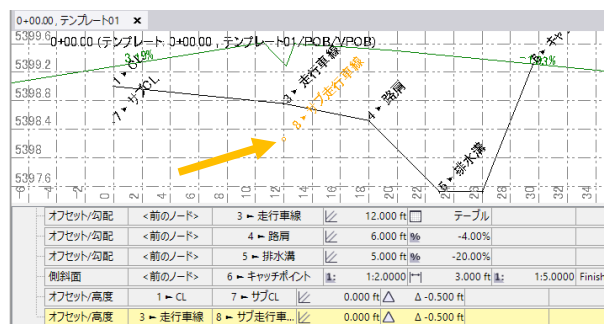
新たに作成された[$7 >$ サブ CL]ノードは、路床層のセンターラインを表します。



8f. 右走行車線の定義 – 路床層

- [指示タイプ]ドロップダウンリストで、[オフセット/高度]を選択します。
- 指示の詳細フィールドで以下を入力します。
 - オフセット/高度の参照元: 3 > 走行車線
 - オフセット > オフセット
 - 高度 > デルタ高度
 - 名前: サブ走行車線
この新しいノード名をフィールドに入力します。
 - 表層: 何も選ばないでください
- [適用]ボタンをクリックします。

新しく作成された「8 > サブ走行車線」ノードは、路床層の右走行車線の右端を表しています。



8g. 路肩の定義 – 路床層

- [指示タイプ]ドロップダウンリストで、[オフセット/高度]を選択します。

2. 指示の詳細フィールドで以下を入力します。

- オフセット/高度の参照元: 4 > 路肩
- オフセット > オフセット : 0
- 高度 > デルタ高度 : -0.5
- 名前: サブ路肩
この新しいノード名をフィールドに入力します。
- 表層: 何も選ばないでください

3. [適用]ボタンをクリックします。

新しく作成された「9 > サブ路肩」ノードは、路床層の路肩の右端を表します。

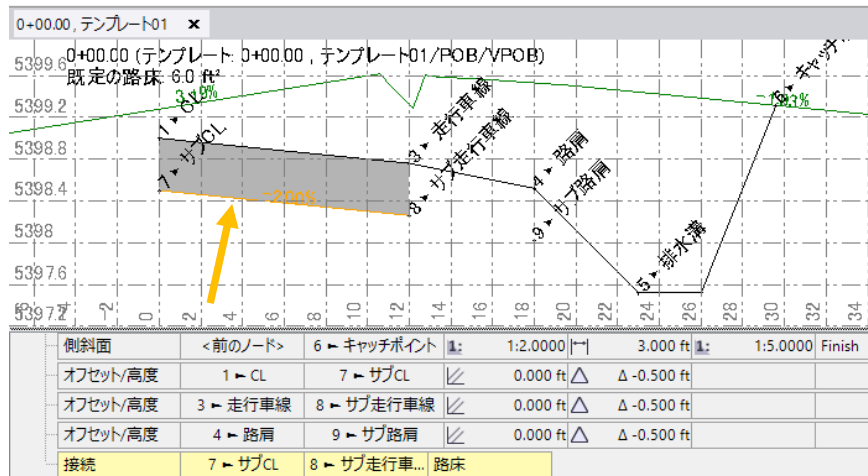


次に、新しく作成した路床ノードを線分でつなぎます。

8h. ノードの接続 - 路床層

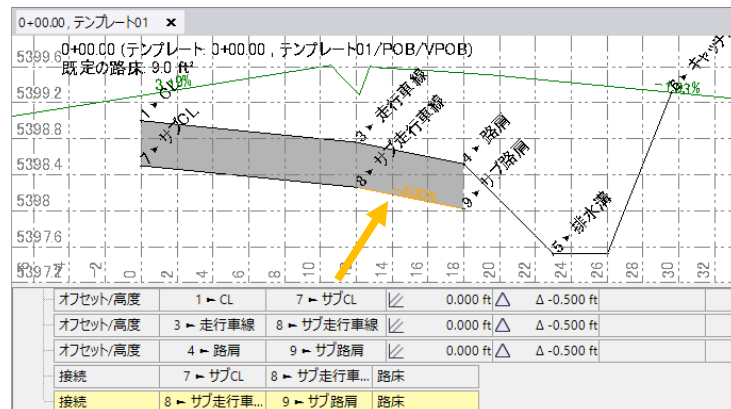
この手順では、「7 > サブCL」と「8 > サブ走行車線」のノードを接続する線分を定義します。

1. [指示タイプ]ドロップダウンリストで[接続]を選択します。
2. [指示の詳細]フィールドで以下を入力します。
 - ソースノード: 7 > サブCL
ドロップダウンリストでノード名を選択するか、テンプレートのグラフィックビューでノード名を選択することができます。
 - ターゲットノード: 8 > サブ走行車線
 - 表層: 路床
3. [適用]ボタンをクリックします。



次に、「8 ▶ サブ走行車線」と「9 ▶ サブ路肩」を結ぶ線分を定義します。

4. [指示タイプ]ドロップダウンリストで[接続]を選択します。
5. 命令の詳細フィールドを以下のように入力します。:
 - ソースノード: 8 ▶ サブ走行車線
 - ターゲットノード: 9 ▶ サブ路肩
 - 表層: 路床
6. [適用]ボタンをクリックします。

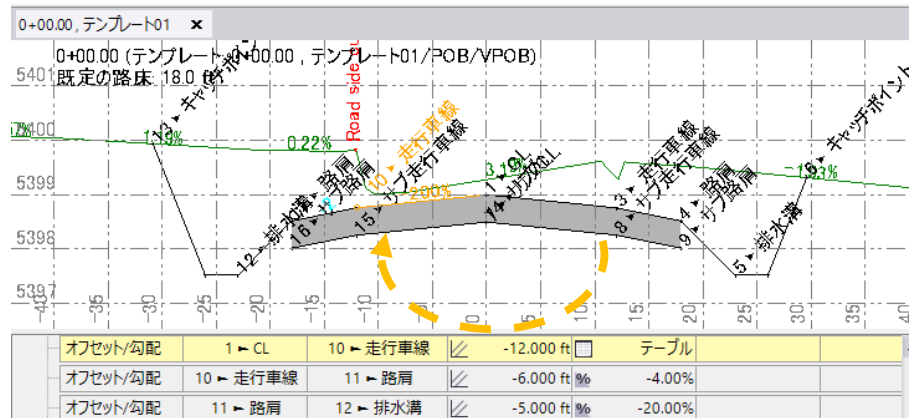


これで、センターライン「1 ▶ CL」ノードの左側にノードとラインを定義する指示を作成する準備が整いました。このチュートリアルでは、左側は右側と全く同じように定義されるので、[指示のミラー化]コマンドを使用できます。

8i. テンプレートの右側の指示を左側にミラーリングする

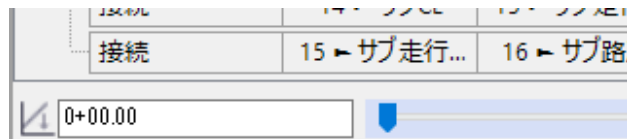
1. [コリドーテンプレートの編集]ペインの上部にある[指示のミラー化]アイコンをクリックします。

このように、テンプレートの左側に指示がミラーコピーされます。



2. コリドーに沿ってテンプレートが既存の表面に対してどのように変化するかを確認するには、[作業手順]の下にあるスライドコントロールを使用します。

左側のフィールドに測点が表示されます。



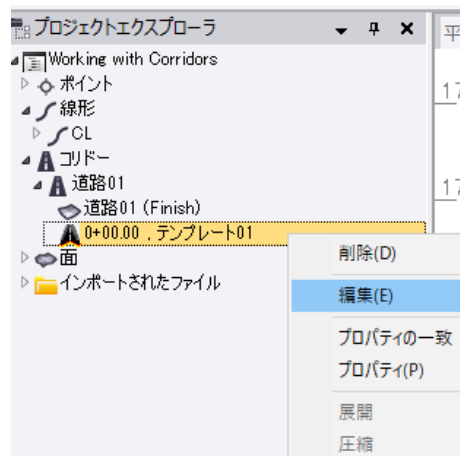
このテンプレートは完成しているので、必要に応じて追加のテンプレートをコリドーに挿入することができます。しかし、このチュートリアルではテンプレートを追加することはありません。次の手順では、既存のテンプレートを編集して指示を変更する方法を説明します。

3. [コリドーテンプレート編集]ペインで[閉じる]ボタンをクリックします。

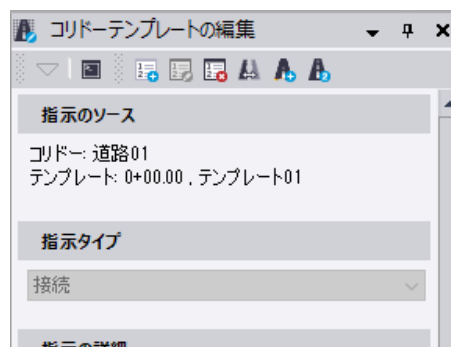
Step 9. 指示の編集

このステップでは、新しく作成したコリドーテンプレートの指示を編集し、左走行車線の左端を、チュートリアル前半で参照ラインとしてプロジェクトに追加したCADポリラインに基づいて再定義します。CADポリラインがセンターラインとのオフセットに応じて移動すると、左走行車線の左端のオフセットも移動します。

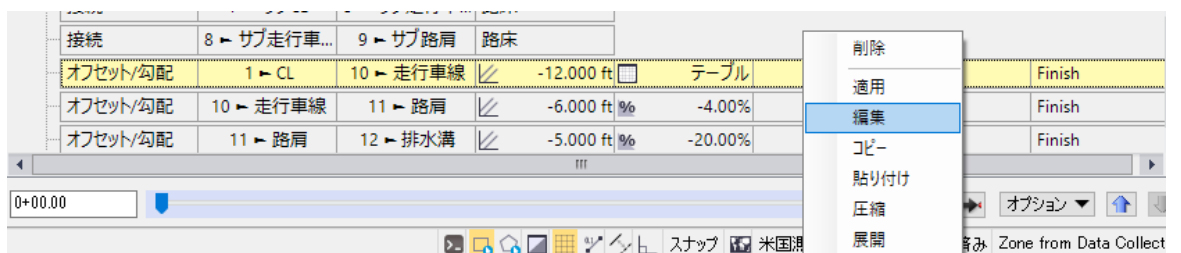
1. [プロジェクトエクスプローラ]が開いていない場合は、[ホーム] > [データ] > [プロジェクトエクスプローラ]を選択します。
2. [プロジェクトエクスプローラ]ペインで、コリドーテンプレートノード「0+00.00、テンプレート01」を右クリックし、[編集]を選択します。



[コリドーテンプレートの編集]ペインが表示されます。



3. [コリドーテンプレートの編集]ペインの[作業手順]リストで、「10>走行車線」の指示をダブルクリックするか、右クリックして[編集]を選択します。

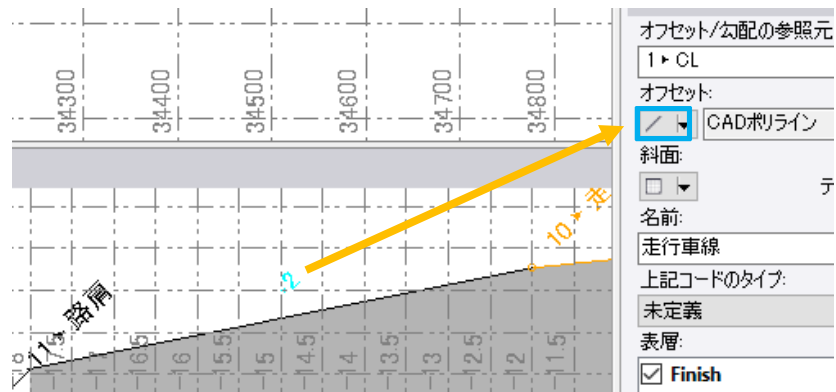


「10>走行車線」ノードのプロパティが[指示の詳細]セクションに表示されます。

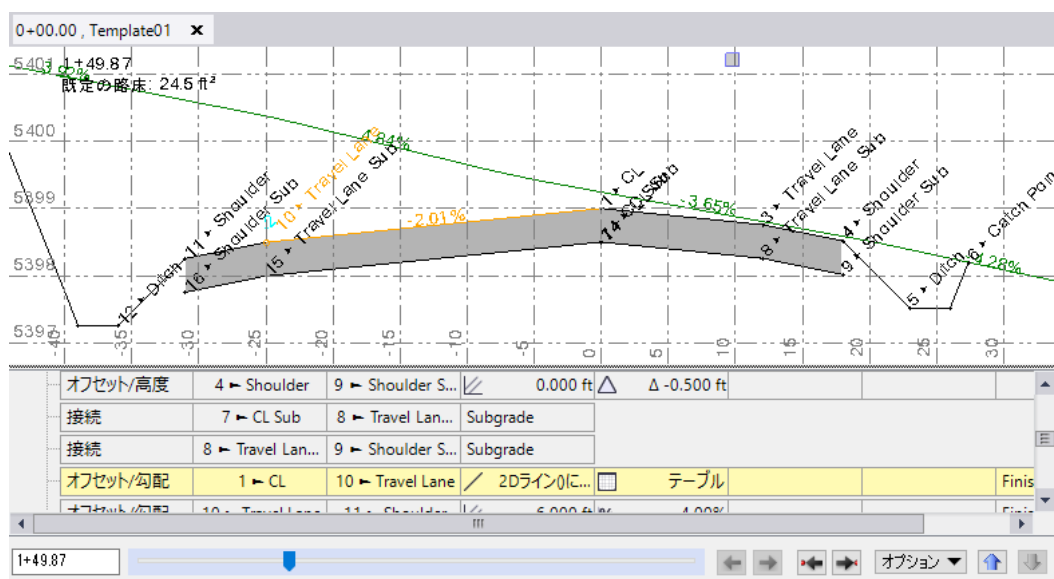
指示タイプ	
オフセット/勾配	
指示の詳細	
オフセット/勾配の参照元: 1 → CL	
オフセット: -12.000	
斜面: <input type="checkbox"/>	テーブル
名前: 走行車線	
上記コードのタイプ: 未定義	

4. [オフセット]ボタンのドロップダウンをクリックし、[2Dライン]を選択します。次に、グラフィックビューでノード2を選択します(必要に応じて、マウスホイールを使用してズームインします)。

[オフセット]フィールドに「CADポリライン」が表示されます。



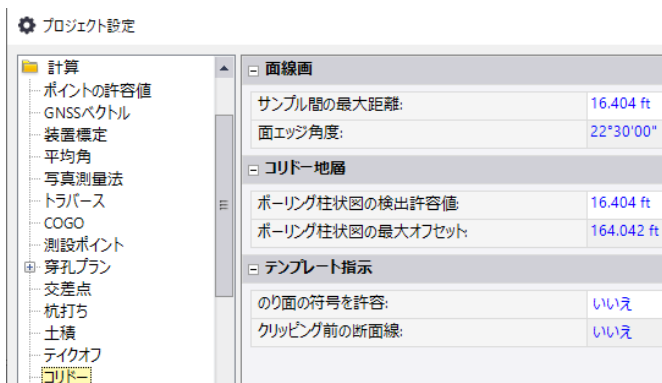
5. [保存]ボタンをクリックします。
左走行車線の左端が、CAD ポリラインの位置に依存するようになりました。
6. コリドーに沿った、既存のサーフェスとCADポリラインに対するテンプレートの変化を確認するには、[作業手順]の下にあるスライドコントロールを使用します。



Step 10. サンプル間の最大距離の確認

コリドーテンプレートは、線形の主要な水平および垂直成分でスライスされた面を作成します。追加のスライスは、プロジェクト設定で定義された間隔（サンプリング距離）で作成されます。このステップでは、サンプリング距離の設定が正しいかどうかを確認します。

1. [クイックアクセス] ツールバー (Trimble Business Center ウィンドウの上部にある) で、[プロジェクト設定] を選択します。
2. [プロジェクト設定] ダイアログで、ナビゲーションペインの [計算] > [コリドー] を選択します。



[サンプル間の最大距離] を小さくすることで、より多くのスライスを作成することができ、その結果、水平および垂直方向の曲線においてより滑らかな面を得ることができます。しかし、このチュートリアルでは、デフォルトの値を変更しません。

3. [キャンセル] ボタンをクリックします。

以上でチュートリアルは終了です。

- ◆ このプログラムおよび使用説明書は、著作権上、当社に無断で使用、複製することはできません。
- ◆ このプログラムおよび使用説明書の使用によって発生する直接・間接・特別・偶然または必然的な損益については、一切の責任を負いません。
- ◆ 本製品の内容には万全を期しておりますが、万一ご不審な点がございましたら、当社にご連絡下さい。
- ◆ このプログラムおよび使用説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。

発行：2023年08月

株式会社 **ニコン・トリンプル**